

◆◆◆ グアム日本人学校から ◆◆◆

新学期スタートから早くも1ヶ月半が過ぎました。子供たちはそれぞれのクラスや担任にも慣れてきて、ますます元気です。

ラッテ5月号は新任教員の挨拶だけになってしまいましたので、4月の行事など学校の様子をお知らせします。



入学式では4月12日に総領事、日本人会長らにお越しいただき小学部15名、中学部5名の新生を迎えました。式場は皆様のお力添えで新しくできた体育館を予定していました。

しかし某国が「ミサイルを発射する」という時期と丁度重なってしまいグアムの消防機関の検査を受けることができないなどの理由で従来通り教室で行いました。

「ミサイルを発射する」には驚かされました。グアムの警戒レベルが通常の緑から黄色に引き上げられ、すべての学校で避難訓練を実施することになりました。新聞には地元の



学校のLock Down Drillの様子が写真入りで報道されていました。

グアム日本人学校では幼稚部も含めて避難訓練を実施しました(4月25日)。この時、警戒レベルは通常の緑に戻っていましたが皆、真剣に取り組んでいました。

26日はフムヨンマングロ山(約391m)への遠足です。小学部中学部 バス2台に分乗し途中、戦跡公園ガアン・ポイントで小休止し登山口まで向かいました。登山道はイースターの時に整備したのでしょうか、草などよく刈られていました。上級生が下級生の荷物を持ってあげるなど微笑ましい場面がたくさんありました。頂上は薄曇りで暑くなくて幸いでした。また、バスに乗りニミッツ・ビーチで昼食をとり新入生歓迎会をしました。入学間もない小学1年生達も一人一人元気に挨拶していました。

グアム日本人学校 校長 森田 正人



◆◆◆ グアム補習授業校から ◆◆◆

4月6日に今年度がスタートしましたが、早いもので6月22日には1学期の終業式を迎えます。全日制よりも1ヶ月も早く夏休みに入りますが、これは現地校の休みに合わせているためです。

さて、今年度の児童・生徒数ですが、次のようになっています。

プリ	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
10	17	17	19	17	17	8	12	12	7	136

指導する教職員は、10名(教員 8、事務員 2)で、昨年度と同じです。

また、主な年間行事予定は次のようになっています。

1 学 期	2 学 期	3 学 期
入学式・始業式 避難訓練 授業参観・懇談会 漢字大会	授業参観・懇談会 校外学習 音読発表会 修学旅行	書き初め スポーツ大会 漢字大会 卒業式・修了式

今年度は、3年に1度の中学部の修学旅行も予定されており、子供たちはとても楽しみにしているようです。さて、今回は世界の補習授業校のことについて簡単にお話しさせていただきます。

現在、世界には204校(2011年)の補習授業校がありますが、約半数が北米(アメリカ合衆国、カナダ)にあり、児童・生徒数の在籍数でいうと80%以上になります。補習授業校は「海外の現地校や国際学校等に通学する日本の子供たちを対象に、土曜日や平日の放課後を利用して日本の小・中学校で学習する国語や算数(数学)などの主要教科を学習するための教育施設」となっており、日本政府からの援助を受けていますが、運営主体はそれぞれの地域の日本人会です。

子供たちは平日現地校に通っているもので、土曜日だけの学校がほとんどで、平日も算数・数学の授業をしているグアム補習校のようなケースは世界でも数えるほどです。

また、世界中のすべての補習授業校で国語の授業を行っていますが、そのほかに、算数・数学(約8割)、社会(中学社会約4割)、などの授業を行っている学校も多いです。

さらに、土曜日だけということで時間が限られていますが、そんな中で運動会や遠足、書き初めや餅つきなど、それぞれ工夫した行事を行っている学校がたくさんあります。

簡単に、補習授業校のことについて述べましたが、いずれにしても、現地校との両立は大変ですが、そんな中でもグアム補習授業校の子供たちは元気ががんばっています。

グアム補習授業校 校長 本間 勲

